

埼玉県DWAT (災害派遣福祉チーム) 能登半島地震での活動

【派遣場所】

- ①いしかわ総合スポーツセンター（金沢市）
1.5次避難所
- ②産業展示館（金沢市）1.5次補難所

【派遣期間・人数】

- 2月16日～3月2日
- 計12名（3名×4班）







埼玉DWAT 派遣期間

【第1班】 2月16日～2月19日

【第2班】 2月20日～2月23日（高橋）

【第3班】 2月24日～2月27日

【第4班】 2月28日～3月2日（椎葉）



埼玉DWATの役割

- ① 地元石川県DWATの活動を支える
- ② 能登北部より避難された要配慮者のニーズ把握
- ③ 関係者と連携しながら必要な支援の調整及び提供



現地で連携した専門職チーム

- ① 保健師チーム
- ② JRATチーム
(日本災害リハビリテーション支援協会)
- ③ 介護職チーム (介護福祉士会)
- ④ MSW (医療ソーシャルワーカー)
- ⑤ 看護師チーム
- ⑥ JCMA (日本介護支援専門員協会)



いしかわ総合スポーツセンターに派遣されたDWAT

石川県DWAT

群馬県DWAT

山梨県DWAT

滋賀県DWAT

島根県DWAT

京都府DWAT

愛媛県DWAT

岐阜県DWAT

大阪府DWAT

広島県DWAT

香川県DWAT

長崎県DWAT

他県DWATと混合チームを編成して支援を行った

活動内容

- ① なんでも相談室
- ② 巡回訪問（ラウンド）
- ③ 同行支援（2次避難先確保支援）
- ④ 1.5次避難所退所に向けた相談支援
- ⑤ 記録

現地で感じた課題

● 他の専門職との連携・情報の共有

DWATの役割を十分に知らない専門職も多い。現地での連携方法について平時から相談できるとよい。ビブスに「社会福祉士」等の資格名を記載することも有効的。

● 状況把握・派遣期間

具体的な任務内容は現地に行くまで把握できなかった。

現地の状況やシステムを把握し、要支援者との関係を構築するまでに2～3日を要するが、4日目には次の班に引き継ぎ任務終了となる。

(他県DWATの参考となった取り組み)

- ・ DWATメンバー間の情報共有として、ZOOMを活用した事前説明会や引き継ぎ。
- ・ 派遣期間の柔軟な設定、同一メンバーの複数回派遣。